平成25年度
第２号
発行日　平成25年７月９日

# いわて未来づくり機構だより

いわて未来づくり機構では、平成24年度から3ヵ年を、機構の第2フェーズとして、オール岩手による復興と未来づくりにつながる県民運動を力強く推進しています。平成 25 年度は、第2フェーズの中間年に当たり、復興を加速させる年でもあります。会員各位の一層の御協力をよろしく願いします。

会員の皆様には、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。「いわて未来づくり機構」は、皆様の御支援・御協力を賜り、設立より6年目を迎えることができました。本号では、去る6月24日に開催された平成25年度第1回ラウンドテーブル及び総会等を中心にご報告いたします。

事業報告

## 平成 25 年度 第１回ラウンドテーブル



平成 25 年６月 24 日（月）の 14 時 30 分から、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにおいて、会員ほか約 80 名の出席を得て、**平成 25 年度第１回ラウンドテーブル（ＲＴ）を開催**しました。

ＲＴでは、今年度の**機構の活動方針**と前回のＲＴで設置が承認された**「復興教育作業部会」の活動の方向性**、さらに経済同友会などとともに機構が取り組む、人作り・街づくり・産業づくりのプロジェクト**「東北未来創造イニシアティブ」**について、**各メンバーから意見が出されました。**

### 主な意見

震災の風化を嘆くのではなく、自分たちがどうすれば風化を食い止められるかを考えることが大事。**他人に期待するのではなく、自ら課題を解決していくなかに、未来が見えてくるのではないか。**

**ILC 誘致もジオパーク認定も、県民に広く告知されて運動が加速度的に促進されることで、希望がより広がるので**はないか。

機構の第２フェーズの２年目ということで、**取組を充実させ、成果を出していく必要がある。**

復興教育作業部会は、キャリアアップを自分で考えていく術を子どもたちに与えていく、という考え方で取り組みたい。

日本の若い世代が諸外国に一歩先んじる力を、**上の世代が若い世代を支え、必要に応じてお節介なくらい背中を押して伝えていくことが大事。**

人をいかに育てるかに復興の成就がかかっているということがイニシアティブの根本。１人でも多くの起業家を育てることを支援していきたい。

## 平成 25 年度 総 会




ＲＴに引き続き開催された総会には、110 名ほどの出席があり、24 年度実績報告(案)、25 年度活動計画(案)が承認されたのち、**ＩＬＣ誘致に係る緊急決議が提案され、同じく承認されました。**なお、この決議の趣旨を踏まえ、６月 26 日(水)に**達増知事が国に対して、誘致を強く要望**しております。

第２部では、NPO 法人 ISL 理事長の野田智義氏に、「東北未来創造イニシアティブの取組について」と題して講演していただきました。会員からは「取組の本旨がよくわかった」と好評をいただいております。

なお、RT･総会の概要及び資料は、機構のホームページから御覧ください。

## 平成25年度 活動計画（抄）

### Ⅰ 活動方針

1　平成２５年度は、機構の第２フェーズの中間年であり、復興を加速する年でもあることから、機構としての**復興に関する取組をさらに充実させる**とともに、**成果と実績をあげる**ことに重点を置いて取り組む。

2　活動内容の周知を図り事業の実効性を高めるため、引き続き積極的な情報発信を行う。

### Ⅱ 活動計画

1　**機構及び各会員が取り組む県民運動**

（1）**震災復興に向けた活動**の推進
　①**「いわて三陸復興のかけ橋」**
　②**東北未来創造イニシアティブ**
　③**復興教育作業部会**の設置　　など

（2）復興の象徴で希望あふれる未来の実現に向けた活動の推進
　①ILC 東北誘致
　②2016 希望郷いわて国体
　③いわて三陸ジオパーク

2　**部会の活動**（全６部会）

（1）東北未来創造イニシアティブ作業部会
（2）産業復興作業部会
（3）医療福祉体制作業部会
（4）かけ橋作業部会
（5）観光作業部会
（6）（仮）復興教育作業部会

## 東北未来創造イニシアティブ

ＲＴや総会でも報告がありましたが、機構では今年度から本格的に、東北未来創造イニシアティブに取り組みます。これは、経済同友会の会員など、全国の有志の方々の支援のもと官民協働で取り組むプロジェクトで、**釜石・大船渡両市役所には、経済同友会を通じて民間企業からの出向者が２名ずつ派遣**されています。

まずは、活動の第一歩として、沿岸部で**新たな事業に挑戦しようとする方を対象とした「経営未来塾」を８月に開く予定**ですが、随時情報提供いたしますので、会員の皆様の御協力をお願いいたします。

http://tohokumirai.jp/

| 検索 | 東北未来創造イニシアティブ |
|---|---|

## 情報をご提供下さい

機構では、ホームページなどを活用した、会員・一般向けの**情報発信**を行っています。

会員の皆様において、「イベントを予定している」「周知したいことがある」など、**発信したい情報がある場合は、機構事務局あてご相談ください。**

また、「買うなら岩手のもの運動」の一環として、ホームページ上で**「岩手のイイモノ」紹介**を行っています。**「イイモノ」の御推薦がありましたら、皆様からもお寄せ願います。**

なお、事務局において機構としての発信が適当ではないと判断した場合は、お断りさせていただく場合がありますので予めご了承願います。

## 今後の予定

**第2回ラウンドテーブル**　10 月頃開催
具体の課題についてＲＴメンバーによるディスカッションを予定しています。

**第3回ラウンドテーブル**　１月頃の開催を予定しています。

---

### いわて未来づくり機構事務局からのお知らせ

会員各機関の代表者、担当者、メールアドレス等に変更があったら、事務局までお知らせください。

〒020-8570　盛岡市内丸 10-1　岩手県政策地域部政策推進室（担当：鎌田、田山）
電　話：019-629-5215（FAX019-629-5254）　E-mail：aa0001 @pref.iwate.jp
ホームページ　http://iwatemirai.com/